

下水道を知る ～次の時代へ豊かな環境を残すために～

地球上の水は海から蒸発して雲になり、雨を降らせて川を通りまた海へとかえります。私たちはこの自然サイクルの中の、ほんの一部の水を利用しています。(公社)日本下水道協会によると地球上にあるすべての水のうち、私たちが使用できるのは約0.01%です。

川の水を汚す大きな原因となっているのが、家庭からの生活排水です。下水道は私たちが使用した後の水(汚水)をきれいにし、川や海に戻す大切な役割を担っています。

問合せ先/上下水道課 (979-8118)

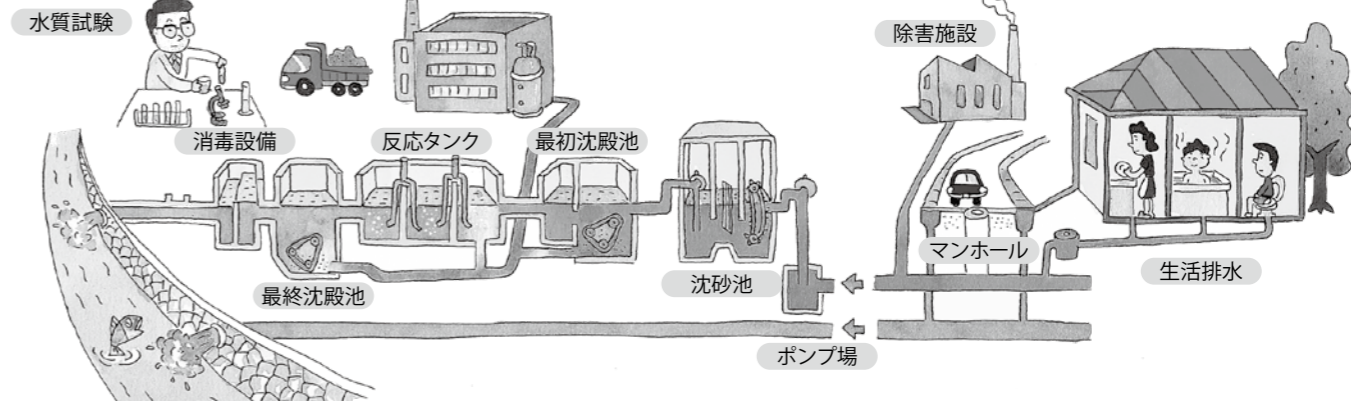
下水道の役割

道路上に、町章の付いたマンホールがあるのを見たことがありませんか。下水道の管は地中に埋設されており、汚水はさまざまな経路をたどって下水処理場である「狩野川東部浄化センター」まで運ばれます。下水道により、汚水が直接川に流



れ込むことがなくなります。このことにより川や海の水環境が守られ、屋内外の臭いの改善や害虫が発生しにくくなるなどして、私たちは衛生的で快適な生活を送ることができています。運ばれた汚水は、狩野川東部浄化センターで微生物の力により浄化された後、大場川に放流されます。そうして川を経て海に出た水は水蒸気となって雲となり、雨になって再び私たちの生活に戻ってきます。

浄化センターの仕組み



下水道使用開始までの流れ

町では、公共下水道区域の各家庭において、供用開始の日から6か月以内に下水道に接続するよう条例で定めています。できる限りすみやかな接続にご理解とご協力をお願いします。また、上下水道課では供用開始区域内の排水設備の設置促進、水洗便所の普及促進のため、供用開始の日から3年以内の区域を対象に改造にかかる融資あっ旋および利子補給を行っています。

STEP 01 町で行う工事

町では皆さんの安全で快適な暮らしのために、下水道の整備に取り組んでいます。道路内に下水道本管を埋める工事と家庭の敷地内に「公設汚水ます」と呼ばれる下水道に流すための管を設置する工事を行います。工事を行う地域が決まると、町の職員が皆さんのお宅に伺い、工事について説明を行います(地域によっては、説明会を開催することもあります)。工事中は大きな音がしたり、一時的に交通事情が悪くなるなどご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

STEP 02 家庭や事業所ごとに行う工事(排水設備工事)

雨水を除いた宅内の台所、風呂、水洗トイレなどから出るすべての排水を下水道に排出するための設備を「排水設備」といいます。町が道路に埋設する下水道管と、家庭や事業所などからの排水管を公設汚水ますで接続する工事が完了してはじめて下水道を使用できるようになります。ただし、排水設備工事を行うことができるのは町の排水設備指定業者のみです。



STEP 04 下水道使用料

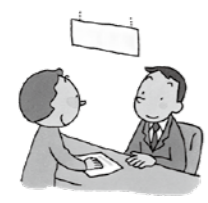
宅内排水を下水道に接続し、使用を開始すると下水道使用料を納めていただくようになります。これは下水道施設の運転や補修、清掃などの維持管理費に充てられます。町では皆さんが納めていただいた下水道使用料金で、県に維持管理負担金を支払い、狩野川東部浄化センターで汚水処理しています。



下水道を使い続けるために

下水道は私たちの大切な財産であり、快適な生活を守るために休むことなく働いています。下水道がこれからも安全に使用できるように皆さんのご協力をお願いします。

STEP 03 受益者負担金・分担金
下水道施設整備費用の負担金として受益者負担金(分担金)の納入をお願いしています。下水道が整備された土地に、一度だけ賦課されるもので、地積1㎡当たり180円かかります。



○下水道の正しく安全な使用のために家庭でできること

- ▼トイレにティッシュ、ペーパー、紙おむつ、たばこ、ガムなどを流さないようにしましょう。



▼洗濯機の洗剤は適量にし、くず取用のネットを取り付け、くずなどを取り除きましょう。



▼お風呂や洗面所の排水口に溜まった髪の毛などはこまめに取り除きましょう。



▼ガソリンなどの揮発性の高い危険物を下水道へ流すと爆発の危険があります。処分の際は販売店や専門業者に相談しましょう。

○宅内排水と雨水は合流させない
町では家庭や事業所からの排水と雨水を別々に処理する分流式を採用しています。

下水道管に雨水を流してしまうと、雨天時には下水道管から汚水があふれ、逆流してしまうことがあります。自宅の雨どいなどを点検し、誤接続を発見した場合には、改修をお願いします。

水は私たちの大切な資源です

水は限りある大切な資源です。しょうゆ大さじ1杯を、魚が住める程の水に戻すためには風呂約1.5杯(450ℓ)のきれいな水が必要となります。狩野川東部浄化センターに流れ込む汚水が多すぎるとその処理能力を超えてしまう可能性があります。ひとりひとりが日々の生活の中で水を大切にすることが大切です。

○今日からできるひと工夫

- ▶歯みがきの際は、水を出したままにせずコップや器にためて使いましょう
- ▶食べ残しは排水口に流さないようにしましょう
- ▶油污れなどは紙で拭いてから洗いましょう
- ▶シャンプーや洗剤などを使いすぎないようにしましょう

Check!!